

令和 3 年度

事務事業評価表 (令和 2 年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		筑西労働基準協会参画事業				事業区分			担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助			事務事業No. 040201000524		
政策体系	総合計画の施策名	0402 商工業の振興							所属課 050301		
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり							課長名 商工観光課		
	施策名	02 商工業の振興							グループ 商工観光グループ		
	手段名	01 ①商工業の振興							担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			単年度繰返し (年度~)	
	01	05	01	01	01	00	労働諸費事業			→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠											

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 市内事業所の労働安全衛生水準・労働条件の向上を図るため、それらの活動を行っている筑西労働基準協会へ賛助会費として負担金3万円を支出する。 同協会の主な事業：労働時間についての相談、指導。講習会の技能講習及び研修の実施（フォークリフト等）、免許試験の実施（ボイラー技師等）、広報紙「いばらき労働基準」を毎月発行、管内の事業者による組合・団体へ助成
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 請求書に基づき、筑西労働基準協会に賛助会費を支出 技能講習の案内周知 【担当者が行う業務の手順】 負担金交付事務（請求書受付→支出）

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
負担金交付事務 (請求書受付→支出)	技能講習の開催回数	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
筑西労働基準協会、市内の事業所・労働者	市内の事業所数 (従業員4名以上)	社	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	市内の労働力人口 (15~64歳)	人	25,000.00	22,200.00	22,200.00	22,200.00	22,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市内の事業所及び労働者の労働安全衛生水準及び労働条件を向上させる。	労働災害数 (茨城県年間発生件数)	人	3,000.00	3,049.00	3,000.00	3,000.00	30,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		01年度	02年度	03年度	期間限定	
		(実績)	(実績)	(計画)	総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	30	30	30
		事業費計 (A)	千円	30	30	30
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	

		02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
事業費の内訳	18 負担金補助及び交付金	30		18 負担金補助及び交付金	30
		合計	30		合計

事務事業名	筑西労働基準協会参画事業	事務事業No.	40201000524	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 筑西労働基準監督署管内の事業所や組合を会員として、労働基準行政の円滑な推進と会員相互連絡提携、管内労働者に対する技能講習等による技術向上などにより、労働条件、労働安全衛生水準の向上を図るため賛助会員として参加した。 5年前よりも管内事業所は減少傾向にあるが、労働災害は依然として多く発生しているため、重要度は高いと考えられる					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 対象者である筑西労働基準協会に、賛助会員を退会した場合の影響を確認したところ、同じように退会を検討し、退会した結城市の例を挙げ、デメリットが発生する可能性を示唆された。 【結城市の例：結城市が退会を検討し、実際に退会したところ、結城市の事業者組合への協会からの助成金が減額された。】					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 筑西労働基準協会の活動を通して市内商工業者の労働条件を改善し、労働安全衛生推進を向上させることは、地域商工業者の経営基盤の強化と労働者の安定就業に繋がるため、地域商工業の発展に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 筑西労働基準協会は管内の事業場を会員とし、厚生労働省 労働基準局の方針に従って労働条件の改善及び労働安全衛生水準の向上を図っている。市内事業所の労働条件、労働安全衛生水準の向上を図るため、同協会に参画することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 各種技能研修等の実施、及び、同協会の事業についての広報活動により、労働安全衛生水準は確保できている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市内の事業所や労働者の各種免許取得や研修を受ける機会や労働条件関係の情報を得る機会が減少し、その結果労働条件の悪化や労働災害の増加が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は負担金のみであるため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 筑西労働基準協会の事業により管内の事業者・労働者の環境改善等が図られるため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	技能取得等の案内を各庁舎窓口へ設置をしているが、今後、更に広報誌や市HPを活用し、利用者が増えるよう周知を図る。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○				X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/> ⑨																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>